

## アフタヌーンセミナー1

日時：9月2日(土) 14:50～15:50

会場：第1会場(ソラシティホール)

ALEXION®  
AstraZeneca Rare Disease



座長 北里大学 医療衛生学部 視覚機能療法学専攻 教授 **石川 均** 先生

視神経脊髄炎スペクトラム障害 (NMOSD) は、抗AQP4抗体の発見により多発性硬化症から独立した疾患とみなされるようになりました。一度の再発により失明をきたす等、後遺症が重篤であることが特徴です。近年、既存薬よりも高い再発抑制効果をもつ複数の分子標的薬が上市されており、本セミナーでは眼科と脳神経内科それぞれのエキスパートの先生より最新の診断・治療についてご講演をいただきます。診療科横断でNMOSDについて理解を深める機会になれば幸いです。多くの先生方のご参加をお待ちしております。



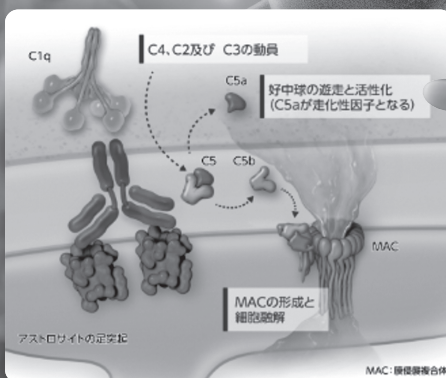
### NMOSDの診断と特徴、眼科医として何ができるか

演者 東京医科大学臨床医学系眼科学分野 兼任教授 **毛塚 剛司** 先生



### これだけは知っておきたい NMOSDの病態と最新治療

演者 東京都立荏原病院 神経内科 部長 **野原 千洋子** 先生



共催：アレクシオンファーマ合同会社